

## 第2回 道路交通検討幹事会 議 事 要 旨

1 日時 令和3年5月24日（月）10時00分～11時00分

2 場所 WEB開催

3 出席者

No	区 分	所 属	氏名	出欠
1	貨物自動車運送事業者 が組織する団体	公益社団法人 福島県トラック協会 いわき支部 支部長	鈴木 健仁	○
2	高速道路管理者	東日本高速道路株式会社東北支社 いわき管理事務所 副所長	奥野 俊	○
3	国	国土交通省東北地方整備局 磐城国道事務所 調査課長	加藤 修一	○
4		国土交通省東北地方整備局 小名浜港湾事務所 企画調整課長	遠藤 祐二	○
5	県	福島県いわき建設事務所 企画調査課長	吉田 和成	欠
6		福島県いわき建設事務所 道路課長	加藤 高洋	○
7		福島県小名浜港湾建設事務所 企画調査課長	鈴木 好美	○
8	公安委員会	福島県いわき中央警察署 交通第一課長	松崎 郁郎	○
9		福島県いわき東警察署 交通課長	石井 隆浩	○
10		福島県いわき南警察署 交通課長	佐久間 健	○
11	市	いわき市土木部 土木課長	佐藤 慎一	○
12		いわき市土木部 道路管理課長	渡邊 仁	○
13		いわき市都市建設部 都市計画課長	紺野 克彦	○幹事長
14		いわき市都市建設部 総合交通対策担当課長	渡邊 直	○
アドバイザー				
1	学識経験者	独立行政法人国立高等専門学校機構 福島工業高等専門学校 ビジネスコミュニケーション学科 教授	芥川 一則	○
2	学識経験者	福島大学 経済経営学類 准教授	吉田 樹	○

・事務局：都市建設部都市計画課

## 4 概要

### (1) 開会

司会による開会の宣言

### (2) 委員紹介

司会から委員の紹介

### (3) 幹事長あいさつ

幹事長の紺野委員による挨拶

### (4) 協議

#### 《確認事項》

#### ① これまでの経緯について

都市交通施策の経緯や現在の検討体制、昨年度までの主な取り組みについて、事務局より説明。

#### ② いわき都市圏の現状・特性と課題について

社会・経済情勢等からみる現状と課題や、本市における道路交通、公共交通の特性と課題について、事務局より説明。

#### ③ 都市交通の目標（案）について

本市の課題や市民意識調査結果や関連計画等を踏まえて、設定した都市交通の基本目標（案）と基本方針（案）について、事務局より説明。

#### ④ 道路整備の視点（案）について

都市交通の目標（案）や国における道路政策の考えを踏まえた、道路整備の視点（案）について、事務局より説明。

#### ⑤ 公共交通ネットワーク（案）について

今後の公共交通ネットワークの基本的な考え方と方針図（案）について、事務局より説明。

#### ⑥ 計画策定までのスケジュール（案）について

各種計画策定までのスケジュールについて、事務局より説明。

#### 《検討事項》

#### ① 都市の将来像の設定について

将来交通需要を検討するにあたり、設定する都市の将来像について、事務局より説明。

#### ② 将来交通需要の検討について

交通需要予測で採用するモデルや道路ネットワーク、設定する将来シナリオについて、事務局より説明。

#### ③ 将来交通計画の施策の方向性について

都市交通の目標（案）などを踏まえ、道路、公共交通、その他交通環境整備に関する施策の方向性について、事務局より説明。

### (5) その他

### (6) 閉会

## 5 配布資料

次第

出席者名簿

資料 1 : 会議資料

資料 2 : 交通需要予測の採用モデルについて

別紙 1 : 道路交通検討幹事会運営要領

別紙 2 : 意見照会様式

## 6 委員からの主な意見と事務局の考え（要旨）

○：委員 ➡事務局 ➤：アドバイザー

### 《確認事項》

#### ⑤ 公共交通ネットワーク（案）について

- 「地域公共交通の確立」という表現となっているが、よくわからない。公共交通の何を確立するのか、その「何」が非常重要である。有機的な公共交通のネットワークを確立するのか、それともサービスを確立するのか、事務局の意図する考えを教えてください。
- ➡ 公共交通検討幹事会における地域公共交通計画の方針や施策の検討内容を踏まえ、何を確立するのかわかるように表現は改めたい。

### 《検討事項》

#### ② 将来交通需要の検討について

- モデルを作成するにあたって、四段階推定法を使うことに異論はないが、生成モデルは原単位法を用いるしかないとは思いつつも、一つ課題がある。原単位法は、パーソントリップ調査で得られた結果における性別や年代別などの特徴が、将来にわたっても同じ特徴を持つ（特徴が固定される）という前提でモデルを構築するものである。

他都市で携わった事例では、前回調査時と比較して、若い世代の生成原単位が大きく下がったり、高齢者の生成原単位が大きく上昇したりなどの傾向がみられ、性別や年齢別で生成原単位に大きな特徴があり、その特徴のまま原単位法を用いるのに疑問に思うところもあった。

したがって、需要予測を行う前の現状分析の段階で、いわき市の前回調査と今回の調査を比較して、どういうところに特徴があるのかという部分を事務局側で把握しているのか確認したい。

- ➡ 前回の平成元年のパーソントリップ調査結果も踏まえて、採用が可能なものと考えておりますが、他都市の事例も参考に、再度確認を行いたいと思います。
- 調査結果のデータ（サンプル数やデータ属性）から、原単位法を用いるしかない可能性が高いと思うが、その点を確認いただいて、仮に他都市と比較した時に、高齢者の生成原単位が大きいなどの結果が見られれば、それは施策として他都市とは違ったものを考えていかなければならないので、細かな分析に入る前に確認された方がよいかと思う。

- 常磐自動車道の4車線化については、国土交通大臣からは「相馬-新地間」の4車線化について発言があったかと思うので、現に公表されている内容を再度確認していただきたい。

➡ 再度、内容を確認し、シナリオの設定について検討をしていきます。

- 福島県の新広域道路交通計画（案）に位置付けのある路線がもれなく入っているのか。

➡ 新広域道路交通計画（案）における路線についても、道路ネットワークに落とし込みをしております。

- シナリオ設定の公共交通に関する要素は、公共交通検討幹事会における協議を踏まえて提示されているものなのか。
  - ➡ 今後、公共交通検討幹事会において、具体の施策等について検討することから、それら検討内容も踏まえて、シナリオ設定の検討を進めていく考えです。
  
- シナリオについてだが、どういう施策が行われるのかによって、シナリオの結果は変化するため、公共交通検討幹事会での検討事項を踏まえて、どこまで達成できるのかを整理していただければと思う。